

# HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌  
2010 vol.22

## タンザニアより明けましておめでとうございます

### -知野見看護師の海外派遣報告-

知野見 優紀子



皆さん、お元気でいらっしゃいますか？  
昨年の4月にタンザニアに来て、はや9ヶ月が経ちました。時間の流れは、目に見えず早いものですね。

（）タンザニアでの合言葉は「pole pole」。  
スワヒリ語で、「ゆっくり。ゆっくり。」という意味です。時には「pole pole」精神でいかなければ：と思う」ともあれば、「Haraka Harakall」（急いで。急いで!!）と思う」ともしばしば。文化や習慣、時の流れの違いを感じたこの9ヶ月でした。

「事業管理」という初めての仕事に戸惑いを感じながらも、いつもまわりから支えてもらいながらきた9ヶ月…本当に早いものですね。

小学生くらいの時に、難民キャンプで仕事をするナースをメディアを通して見たことが、ナースになることを目指すきっかけでしたが、当時、私の目に映ったナースのように、自分はうまく仕事ができているのだろうか…？あのナースが今ここにいれば、どんなことをただろう…？と思いつめぐらせながらやつてきました。

残りの3ヶ月間も、フィリピンでの合言葉、「Don't worry! Be happy!」で2010年も変化の年として、気を新たに頑張っていきたいと思います。今後ともどうぞ、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



タンザニアの知野見看護師



松井部長

## 『ウロ 泌尿器科の男たち』

松井 隆 泌尿器科部長



ウロとは、・・・、医師の間では泌尿器科のことをウロとよぶ！

おしつこやおちんちんの印象が強く、なんとなく日陰のイメージのある泌尿器科も「ウロ」と呼べば、ハードルが下がった感じはしませんか。

2006年4月に神戸赤十字病院ウロは生まれ変わりました。神戸大学のウロの前教授、守殿院長の就任を期に、泌尿器科常勤枠が2名となり、現在は私と野瀬副部長の二人でさまざまなウロ疾患に対応しています。スタッフは決して多くはありませんが、最大の強みは院長をパイプとした神戸大学病院との連携です。腹腔鏡下手術や開腹手術、不妊関連手術など、大学の専門スタッフと連携して高度で安全な医療を提供しています。2009年より体外衝撃波結石破碎装置も導入し、結石の治療も迅速に行えるようになりました。

大小の総合病院がひしめく地域ですが、当院より以東の神戸市内には複数のウロの常勤医師がいる施設はありません。ウロの診療においては中央区はもとより灘、東灘地区の中核病院としての使命を担うべく、地域医療に貢献していきたいと思います。

## ◎ 血尿と膀胱ガン

血尿が出たけど止まつたので病院に行かなかつた。気がつくと手遅れの膀胱ガンになつて受診される方があります。痛みのない血尿は膀胱癌のサインです。すぐにお医者を受診しましょう。あの恐ろしい膀胱鏡検査をしなければならないためらう必要はありません。軟性鏡という柔らかくて細い膀胱鏡で胃カメラよりもずっと楽に短い時間で検査を受けることができます。早期に見つかった膀胱ガンはほとんど内視鏡の手術のみで完治します。

## ◎ P S A 検査と前立腺ガン

高齢化社会を迎えて前立腺ガンはますます増加しています。一方でこの病気は進行も比較的穏やかですし、さまざまな治療が確立されており、早く見つけることができれば決して恐ろしい病気ではありません。血液中のP S A（前立腺特異抗原）を測定することで早期発見が可能です。50歳以上の男性はこの検査を受けられることを是非お勧めします。結果は2時間ほどでわかります。

## ◎ 男性更年期とE D（勃起障害）

最近疲れやすい。仕事や遊びに意欲がわかない。男性機能が低下した。などと感じることはありますか。男性にも更年期障害があり、これらの症状が加齢による男性ホルモンの低下に起因している場合もあります。男性ホルモンの測定、E D治療など、男性の更年期障害にも積極的に対応しています。

## 泌尿器科スタッフ



左より)松井部長、野瀬副部長

## 第6回「中央区・灘区医師会と神戸赤十字病院交流会」を開催 (11月12日:神戸赤十字病院)

懇親会では、恒例の自己紹介の後、当院に対して多数のコメントをいただき、誠にありがとうございました。今後も「顔の見える病院連携」で地域の先生方のご期待に添えるよう、職員一同幸いです。

地域医療連携室

正井 鈴子



※蟹には、キチン・キトサンが含まれています。血圧、コレステロールを下げる働きがあります。からだの自然治癒力を高めて慢性病を治したい人にお勧めですが、塩分も多いので食べ過ぎないようにしてください。



エネルギー	820kcal
たんぱく質	28.1g
脂 質	14.6g



## よもやまばなし お薬四方山話

17

~『アレルギー性鼻炎』~

薬剤部 牛尾 明日香

アレルギー性鼻炎は、ハウスダストなどを抗原として1年中症状が起る通年性アレルギー性鼻炎と、スキやヒノキなどの花粉を抗原とし、決まった季節にだけ症状が起る季節性アレルギー性鼻炎(いわゆる、花粉症)に分類されます。今回は花粉症を取り上げたいと思います。

花粉症は、花粉に対する免疫機能が過剰に反応し、鼻炎や結膜炎、喘息、咽頭炎などの症状が引き起こされるものです。その免疫反応に大きく関与しているのが、T h 1 細胞と T h 2 細胞といわれる免疫細胞であり、これらのバランスがくずれ T h 2 細胞が優位となると、花粉などの抗原と反応する I g E 抗体が過剰につくられ、アレルギー症状が発症します。

この免疫のアンバランスは、衛生環境の向上も一因とされています。その他ストレスの増加や排ガスなど大気汚染との関係や温暖化の影響による花粉の大量発生などが原因として指摘されています。

花粉症の治療は、鼻アレルギー診療ガイドラインでは経口の第2世代抗ヒスタミン薬に加え、軽症以上から鼻噴霧用ステロイド薬の使用が薦められおり、最近では1回の使用で効果を得られ、副作用も少ない鼻噴霧薬も販売されています。

さらに、免疫バランスの改善が期待できるものとして、詳細なメカニズムは不明ですが、乳酸菌により花粉症等のアレルギー症状が軽減したとのデータも報告されています。

効果が不十分として、現在の花粉症治療に満足していない患者さんも多いようです。医薬品以外の食品も試してみられてはいかがでしょうか。

## 栄養課 だより

20

今回は、「蟹づくし」です。

毎年、冬が近づくと蟹が美味しい季節になります。

当院では、雰囲気を味わって頂けたらと安価な材料で献立を考えています。本場の蟹は無理ですが、蟹かまぼこ、渡り蟹を使って「蟹づくしメニュー」としました。

ちらし寿司には、蟹かまぼこ、蟹缶詰をトッピング。  
てんぶらは、蟹かまぼこ。  
渡り蟹の味噌汁には、蟹を半分入れます。  
足でだしをとり、身だけ後から入れると食べやすいです。  
蟹寿司、てんぶら、渡り蟹の味噌汁、かつお和え、杏仁豆腐の5品です。ご家庭でもぜひチャレンジしてみてください。



### 基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

### 神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けたかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

の兵庫県佐用町の台風9号による水害報道を見て、いてもたつてもいられない気持ちでしたので、10日からの姫路赤十字病院に統一しての12～13日の当院からの救護班派遣に立候補いたしました。



「いざ、出動！」

平成21年8月9日の兵庫県佐用町の台風9号による水害報道を見て、いてもたつてもいられない気持ちでしたので、10日からの姫路赤十字病院に統一しての12～13日の当院からの救護班派遣に立候補いたしました。

当院としては、

2004年10月の豊岡水害と新潟中越地震、2005年のJR脱線事故に続いての久しぶりの救護班出動です。メンバーは医師が私と研修医2名、看護師が3名（うち師長1名）、心理療法士（これらのケア要員）、主事が2名となり、近隣住民の皆さん

が救護所に受診されるのに応じ、巡回診療も行ないました。来られた被災者の方たちは、家のかたづけの疲れや傷などの「からの治療」に来られるのですが、同時に浸水

時の恐怖感や先行きへの不安などがおのずと語られ、やはり災害急性期からこのケアは必要であり、「救護班の中にこれらのケア要員が入る」という赤十字方式の意義を改めて強く感じました。

たった1泊2日でしたが、赤十字救護班の一員としての使命感をまた新たにした任務でした。また、急な出動での留守を預かってくださった病院の皆さん、本当にありがとうございました。



「どろだらけの久崎小学校のグラウンド」

# 兵庫県台風第9号災害 佐用町に救護班出動！

救護班長（心療内科部長） 村上典子

### お知らせ

#### 平成22年1月より整形外科の外来担当医が変更になります

曜日	担当医		
月	伊藤 康夫	戸田 一潔	森田 卓也
火	長谷川 康裕	越宗 幸一郎	馬崎 哲朗
水	伊藤 康夫	中後 貴江	水野 正一郎
木	長谷川 康裕	戸田 一潔	/
金	中後 貴江	越宗 幸一郎	馬崎 哲朗

※ 部分が変更になっています。